

LEVC TX – 安心の室内環境を提供する EV タクシー

- TX は、ドライバーと乗客の間に専用設計された仕切板を備え、いわゆるソーシャルディスタンスの確保に有利。
- 料金決済時の接触が不要、双方向車載インターフォンによる乗客との会話が可能、清掃しやすい室内、マルチフィルター空調システムなど、衛生的な室内環境を提供。
- ゼロエミッション対応の EV タクシーは、大気汚染解消に貢献。

アンスティ発 2020 年 6 月 5 日 – 英国での移動制限が緩和される中、LEVC の EV タクシー、TX は、COVID-19 パンデミック中における乗客の安全な移動手段として不可欠となっています。

仕事に復帰する動きが活発化する中、英国政府は公共交通機関の利用を控えるよう積極的に呼びかけており、いわゆるソーシャルディスタンス確保が大きな課題となっています。TX タクシーは、車内のドライバー側と乗客側を分離した専用設計により、現在の状況下で重要な輸送サービスを提供しています。

後部座席に座る乗客はドライバーから 2 メートルほど離れており、さらにドライバープロテクションスクリーン（乗務員保護用仕切板）がドライバー側と乗客側の二つの空間同士を完全に仕切ります。仕切板は標準装備されており、専用設計であるため英国の型式指定に準拠しているという他にはない特徴を有しています。乗客の座席回りは耐久性があり、清掃も容易なので、ドライバーは運行毎に車内を衛生的に保つことができます。

後席での非接触型決済が利用可能で、乗客はソーシャルディスタンスを保ったままキャッシュレスで支払いを行えます。また車載インターフォンにより、ドライバーが正面を向いたまま、乗客と対面することなく明瞭な音声で車内通話を行うことができます。

さらに、空質センサーが外気の汚染レベルの増加を検出すると、外気導入口を自動的に閉じ、有害な汚染ガスや微粒子の車内への侵入を防ぐ、マルチフィルター空調システムを備えています。

ゼロエミッション対応の TX は、英国の大気汚染改善にも貢献しています。現在、4,000 台以上が販売されており、これは 30,000 トンほどの CO2 削減および約 1750 万リットルの燃料節約に相当します。

LEVC の最高経営責任者（CEO）、ヨルグ・ホフマン（Joerg Hofmann）氏は、次のように述べています。「ロンドンのシンボルでもある黒塗りのブラックキャブは、重要な移動手段として都市生活には欠かせない生命線です。現在の状況下では、タクシーが提供する移動サービスはますます重要性を増しています。働く人々が英



国全土で仕事を再開するなか、安全で快適な通勤手段が求められています。衛生的な室内環境を目標に専用設計された当社の EV タクシー、TX は上質で安心の乗車体験を提供します。」

マスコミ関係者問い合わせ先：
LEVC 広報、黒須 幹（くろすみき）
携帯電話：090-8047-7422
Eメール：kouros@cre-link.jp

写真ダウンロード：https://bit.ly/TX_partition

LEVC について

2014 年以来、浙江吉利控股集团（ジーリーホールディンググループ）は LEVC（London Electric Vehicle Company）に 5 億ポンド以上投資しており、コヴェントリー市のアンスティ（Ansty, Coventry）に全く新規の生産工場を建設しました。環境負荷の小さい商用車のリーダーになるというビジョンを掲げ、最新鋭の工場では世界で唯一の専用設計されたレンジエクステンダー式 EV タクシーを生産しています。

